

用語説明

歳入

- ①町税…町民税、固定資産税、軽自動車税等、町に納められる税金
- ②分担金及び負担金…一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金
- ③使用料及び手数料
使用料…総合体育館等、公の施設の使用料
手数料…税の証明や住民票の交付等に対する手数料
- ④寄附金…個人・団体から贈与されたお金
- ⑤繰入金…一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互に資金運用するお金
- ⑥諸収入…ほかの収入科目に含まれない収入をまとめた科目。延滞金や預金利子、雑入等
- ⑦その他…財産収入、繰越金
- ⑧地方譲与税…自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税
- ⑨各種税交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金
- ⑩その他交付金…地方特例交付金、交通安全対策特別交付金
- ⑪地方交付税…地方公共団体が一定水準の業務ができるよう財政状況に応じて国から交付されるお金
- ⑫国庫支出金…国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金
- ⑬県支出金…事業等特定の目的の財源として県から交付されるお金
- ⑭町債…各事業を行うために町が借り入れるお金

歳出

- ①議会費…議会活動にかかる経費
- ②総務費…自治振興、広報、戸籍、統計、選挙等にかかる経費
- ③民生費…児童福祉・障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園の管理・運営にかかる経費
- ④衛生費…保健衛生、ごみ処理等、衛生的な生活のためにかかる経費
- ⑤労働費…労働者への貸付等にかかる経費
- ⑥農林水産業費…農林水産業の施設整備・振興や農業委員会の運営にかかる経費
- ⑦商工費…中小企業の振興育成・雇用促進、観光振興にかかる経費
- ⑧土木費…道路・橋・河川・町営住宅の管理や都市計画にかかる経費
- ⑨消防費…消防署や水防・防災対策にかかる経費
- ⑩教育費…小中学校の管理・運営、体育施設の管理運営、社会教育、学校給食にかかる経費
- ⑪公債費…地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費
- ⑫災害復旧費…自然災害等による被害の復旧にかかる経費

美浜町の3つの財布

町には、お金を出し入れするために3つの財布を用意しています。

① 一般会計

町の基本的な行政サービスを行うために必要なお金を出し入れする財布で、通常はこの財布にお金を入れたり、そこから払ったりしています。(2~3頁)

② 特別会計

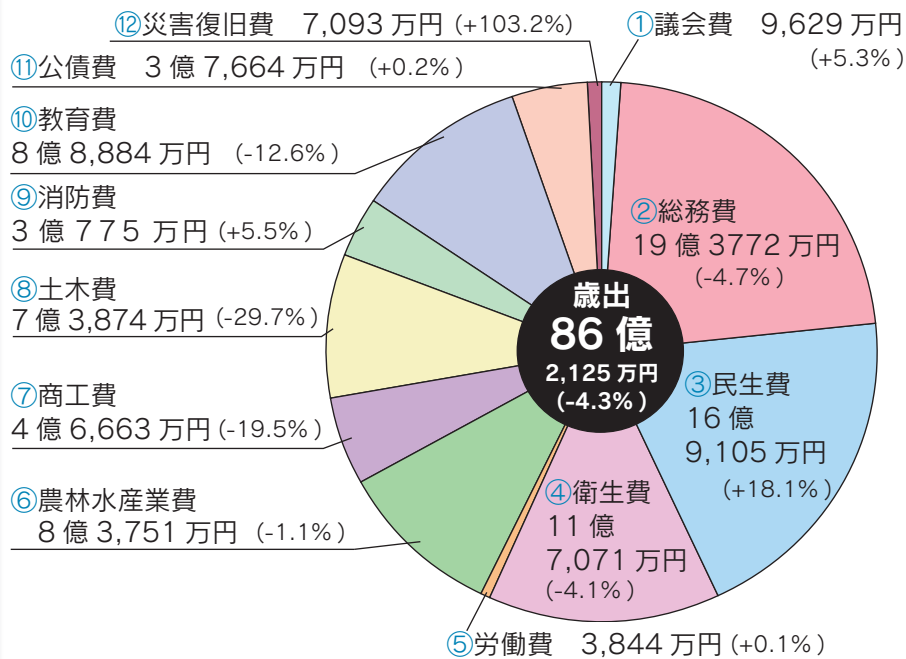
特定の事業を行うために必要なお金を出し入れする財布です。この財布の中は、10個に仕切られており、「診療所事業」や「国民健康保険事業」等があります。(4頁)

③ 企業会計

一般の会社と同じ会計方式をとる財布です。現在、町には1つだけ「上水道事業会計」という会計があります。(4頁)

歳出

※()は対前年比



● 町民1人あたりに使われたお金 約91万1千円 (平成31年3月31日現在の人口9,459人で計算)

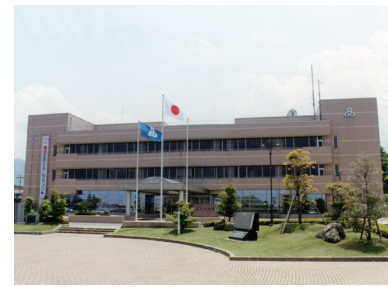
総務費・土木費・教育費等が減額

平成30年度の一般会計の歳出決算額は、86億2,125万円です。前年度と比較すると、3億9,082万円の減額となりました。

減額の主な要因として、エネルギー環境教育体験館「きいばす」への追尾式太陽光発電設備等の設置工事や町道久々子・東レイク線に設置されている道路照明の太陽光LED照明灯への改修工事、総合運動公園のテニス場や屋外トイレ、空調設備の改修工事が前年度に完了したこと等が挙げられます。

また、保健福祉センター大規模改修事業にかかる基金積立金の増等により、民生費が2億5,928万円の増額となりました。

平成30年度 決算報告



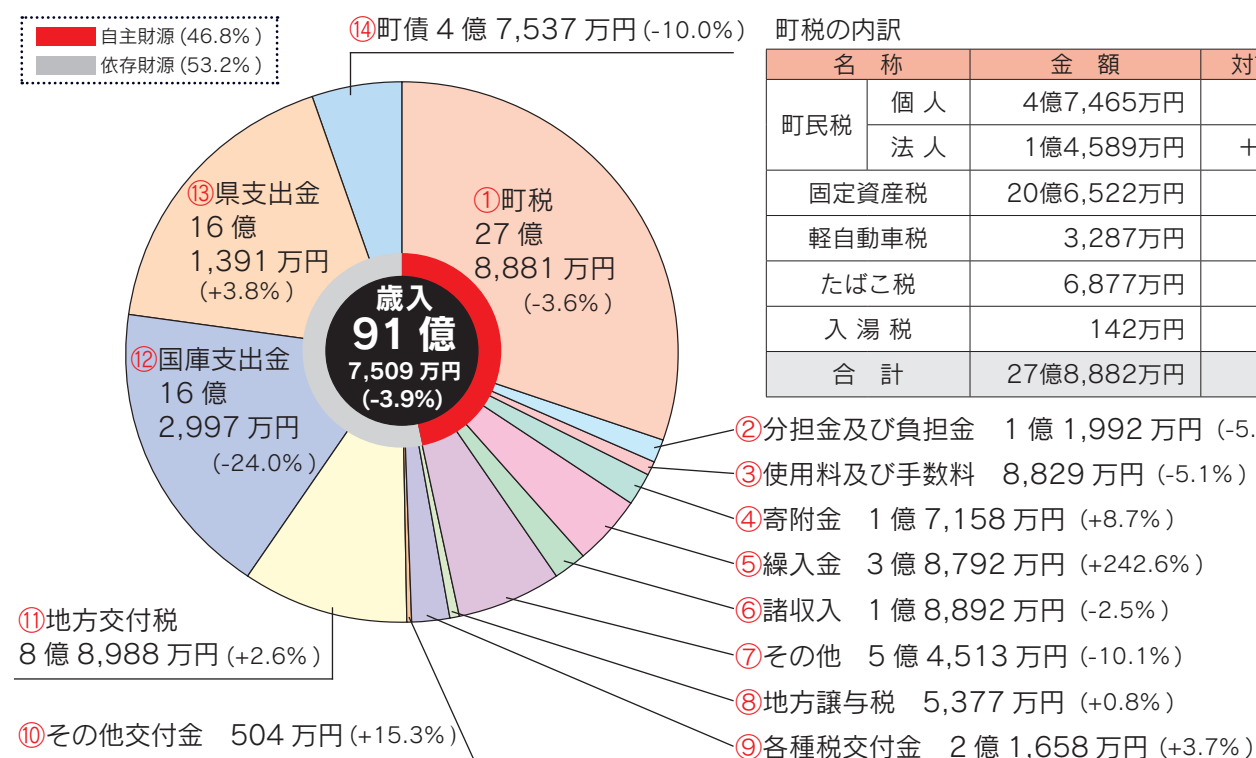
9月2日に開会された令和元年第6回町議会定例会で平成30年度の決算が認定されました。今月号では、平成30年度に皆さんから納められた税金や、国または県からの収入がどのように使われたのかを報告します。

一般会計

※実際の決算額は円単位ですが、分かりやすくするため万円単位で表示しています。

歳入

※()は対前年比



名称	金額	対前年比	
町民税	個人	4億7,465万円	-0.6%
	法人	1億4,589万円	+15.5%
固定資産税	20億6,522万円	-5.6%	
軽自動車税	3,287万円	+3.7%	
たばこ税	6,877万円	-0.5%	
入湯税	142万円	+1.0%	
合計	27億8,882万円	-3.6%	

町税や国庫支出金等の減収

平成30年度の一般会計の歳入決算額は、91億7,509万円です。前年度と比較すると、3億7,040万円の減収となりました。

主な要因として、固定資産税の減収等による町税全体の減、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金や原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金、社会資本整備総合交付金等の減による国庫支出金の減収、園芸拠点施設整備事業の土地売却収入等の減による財産収入の減収等が挙げられます。

自主財源は全体の半分以上を占める

一般会計の歳入は、町民の皆さんから納められた町税や町の施設を使った時に支払われる使用料等、町が自分の力で収入とした「自主財源」と、国や県から交付を受けた「依存財源」に分かれています。

その割合を見ると、自主財源が前年度比3割増の46.8%、依存財源が53.2%となっており、歳入の半分以上を他の財源で賄っている状況です。

自主財源の割合が大きいほど、行政活動の自主性と安定性が確保できるため、町では、今後も税収等の自主財源比率を上げるための施策に取り組んでいきます。

平成 30 年度 原子力発電所の立地に伴う交付金の活用状況

町には、原子力発電所が立地していることにより、国や県から「電源立地地域対策交付金」や「原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金」等の交付金が交付されています。

町では、これらの交付金を活用して、次のような事業を実施しました。

名称	交付金額	事業名	概要
電源立地地域対策交付金	9億1,705万円	・公共施設等維持運営事業 ・保育園運営事業 ・すくすく美浜っ子サポート事業 等	町内公共施設の職員人件費や光熱水費、委託料、保育園の職員人件費、子どもの医療費助成等に使用しました。
原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金	4億7,006万円	・簡易水道事業 ・保健福祉センター大規模改修事業 等	老朽化した排水管敷設替工事や上水道事業への統合に向けた配水管の敷設工事、はあとび改修工事の実施設計、改修工事のための基金造成等を行いました。
広報・調査等交付金	1,377万円	・原子力関連広報事業 ・原子力関連調査事業	原子力関連の広報誌等の発行や広報番組の放送、掲示板等の維持管理、町原子力環境安全監視委員会の開催、関連施設の調査研修等を行いました。

平成 30 年度の主な事業

■福井国体推進事業 [事業費] 1億8,635万円

「第73回福井しあわせ元気国体」及び「第18回全国障害者スポーツ大会」において、ボート競技、軟式野球競技等を実施しました。

福井県での国体開催は、昭和43年開催の第23回国民体育大会以来、50年ぶりでした。

■三方五湖ゾーン整備事業 [事業費] 3,825万円

再生可能エネルギーを活用した、新美浜町レークセンター及び電気推進船の可能性調査を実施しました。

また、久々子湖と日向湖を周遊するサイクリングコース（ブルーライン、案内標識、駐輪スタンド等）を整備しました。



■園芸拠点施設整備事業 [事業費] 8,965万円

食による健康づくりを推進するため、レストラン及び直売所を備えた美浜町健康楽膳拠点施設「こるば」を整備しました。

平成30年9月からの国体期間中に合わせてプレオープンし、令和元年7月にはグランドオープンを行いました。

■災害復旧事業 [事業費] 7,092万円

平成29年10月の台風21号や平成30年7月の豪雨等により被災した道路や農業用施設、林道、農地等の災害復旧工事を行いました。



■美浜・五木ひろしまラソン開催事業 [事業費] 1,532万円

美浜・五木ひろしまラソン記念事業 2,475万円

第30回を迎えた「美浜・五木ひろしまラソン」を開催したほか、マラソン前日には「五木ひろしふるさとチャリティコンサート」を開催し、町の観光PRや交流人口拡大を図りました。

■ホームステイ事業 [事業費] 951万円

国際交流事業 1,039万円

台湾新北市石門区との姉妹都市提携30周年記念事業として、過去のホームステイ事業参加者らが訪台し、記念式典や祝賀会に参加しました。また、ホームステイ事業では美浜中学生の訪台及び台湾石門中学生の訪日も行われ、親睦を深めました。



特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計とは別に設けられている会計のことで、それぞれの会計が独自で収入・支出の経理をしています。

町の特別会計は全部で10会計で、それぞれの決算額は次のとおりです。

会計	内容	歳入	歳出	差引額
診療所事業	東部診療所と丹生診療所を運営するための会計	1億2,533万円	1億2,533万円	0円
国民健康保険事業	自営業の方や退職者等の医療費等を給付する会計	13億911万円	11億9,684万円	1億1,227万円
後期高齢者医療事業	75歳以上の高齢者等の保険料を収納・納付するための会計	1億2,382万円	1億1,892万円	490万円
介護保険事業	介護保険の給付や高齢者の生活支援等を行う会計	11億9,328万円	11億1,426万円	7,902万円
簡易水道事業	簡易水道施設の整備・管理を行う会計	2億2,016万円	2億455万円	1,561万円
集落排水処理事業	集落排水処理施設の整備・管理を行う会計	1億6,609万円	1億6,442万円	167万円
公共下水道事業	公共下水道施設の整備・管理を行う会計	5億1,593万円	5億1,578万円	15万円
産業団地事業	産業団地の整備を行う会計	1,122万円	1,122万円	0円
住宅団地事業	住宅団地の整備や分譲促進を行う会計	9,029万円	8,151万円	878万円
道路用地取得事業	国道27号交通安全事業のための道路用地取得を行う会計	3億4,082万円	2億8,048万円	6,034万円

企業会計

企業会計は法律で設置が義務付けられている会計で、美浜町は、地方公営企業法の「水道の給水人口が5,000人を超える自治体」に該当するため、上水道施設の整備・管理を行う上水道事業会計を設けています。

会計	収入	支出	差引額	
上水道事業	収益的収支(水道料等での収支)	1億6,161万円	1億5,292万円	869万円
	資本的収支(施設建設等の収支)	8,385万円	1億2,872万円	-4,487万円(※1)

(※1) 資本的収支で不足した4,487万円は、将来、施設改修のために保有している資金で補てんしました。

〈各指標〉 健全 ← 悪化

①実質赤字比率	黒字	15%	黄信号	20%	赤信号
②連結実質赤字比率	黒字	20%	黄信号	30%	
③実質公債費比率	9.1%	25%	黄信号	35%	
④将来負担比率	90.5%	美浜町の値	350%		
⑤資金不足比率	不足なし		20%		

①実質赤字比率

一般会計等(美浜町では一般会計、診療所事業、道路用地取得事業)の赤字から財政運営の深刻度をみる比率。美浜町では、一般会計等決算の実質収支(※2)が黒字となるため、比率は表記されません。

②連結実質赤字比率

すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率。美浜町では、全会計の実質収支が黒字となるため、比率は表記されません。

③実質公債費比率

借金の返済負担の重さを示す比率。

④将来負担比率

町が抱える負債の残額から将来財政への圧迫をみる比率。

⑤資金不足比率

公営企業会計の資金不足額から経営状況の深刻度をみる比率。美浜町では、6会計とも資金不足がないため、比率は表記されません。

(※2) 歳入総額から歳出総額を差し引き、更に、次年度に繰り越して行う事業に必要な財源を差し引いたもの。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、4つの財政指標と、公営企業会計(美浜町では、上水道事業、簡易水道事業、集落排水処理事業、公共下水道事業、産業団地事業、住宅団地事業が該当)の資金不足比率で、自治体の財政状況をチェックすることになっています。平成30年度の決算に基づく算定の結果、美浜町はいずれの指標も基準値を下回っており、健全な財政が保たれています。

美浜町の財政状況は健全です

第2期計画の策定に向けて
第1回美浜創生総合戦略会議を開催

■ お問い合わせ先
町まちづくり推進課(担当・伊藤)
☎32-6701



↑委嘱状の交付を受ける宮下直委員

10月3日に「第1回美浜創生総合戦略会議」を町役場で開催しました。「美浜創生総合戦略」は、国が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき策定しているもので、町の人口減少についての分析や推計等を取りまとめた「美浜町人口ビジョン」を基に、人口減少対策に町を挙げて取り組むための方針を示しています。



↑総合戦略に関する説明を聞く委員

会議は、一般町民や産業界、教育関係、金融機関、労働関係、メディア等、幅広い分野の委員で構成されており、令和3年度の第2期総合戦略策定に向けて、今後、議論を重ねていきます。当日は、委員への委嘱状が交付されたほか、町の人口の現状や現行の総合戦略等について説明が行われました。会議の開催にあたり、戸嶋町長は「町では30年間で人口が約3割減少しており、更なる人口減少対策が必要である。委員の皆さんには、第1期計画の実績を評価・分析いただくとともに、町民から頂いた意見を集約して、新たな視点を加えた第2期計画の策定をお願いしたい」と話しました。

世界ボート選手権大会 結果報告会
軽量級女子シングルスカルで富田千愛さんが2位

■ お問い合わせ先
町美浜創生戦略課(担当・荒木)
☎32-6715



↑大会結果を報告する富田さん(左)と武田さん(右)

9月18日に、世界ボート選手権大会に出場された富田千愛さん(福井県スポーツ協会)と武田匡弘さん(関西電力ボート部)の結果報告会が行われました。同大会は、8月25日から9月1日にかけてオーストリア・リンツで開催され、富田さんは軽量級女子シングルスカルで日本人女子選手として初の2位に、武田さんは準決勝で自身初の6分台を記録する等して18位となりました。富田さんは「夏場に弱点改善に取り組んで2位という結果を出せた。東京オリンピックに向けて良い弾みになった」と話され、武田さんは「今回初めてシニアでの世界選手権に挑戦した。U-23カテゴリとは違うレベルで戦ったことで、自分の世界での力量や現在位置を知れた」と話されました。また、戸嶋町長は「世界選手権では素晴らしい結果を残していた。これまでの成果と悔しさをバネにして東京オリンピック出場をつかんでほしい」と話しました。

◎大会結果

富田千愛さん
軽量級女子シングルスカル
決勝A(1~6位)

着順	クルー名(国)	2000m
優勝	ドイツ	7'43"98
2位	日本	7'47"28
3位	イギリス	7'49"82
4位	南アフリカ	7'53"19
5位	カナダ	7'53"83
6位	オランダ	7'57"74

武田匡弘さん
軽量級男子シングルスカル
決勝C(13~18位)

着順	クルー名(国)	2000m
13位	スロベニア	7'04"58
14位	ドイツ	7'06"98
15位	ブラジル	7'08"03
16位	セルビア	7'10"42
17位	クロアチア	7'11"21
18位	日本	7'12"42

町への熱い思いをまちづくりへ
団体別対話 産業版 地域“あいあい”ほっとミーティングを開催

■ お問い合わせ先
町産業振興課(担当・後藤)
☎32-6714

10月8日に、団体別対話「ほっとミーティング」が町役場で行われました。団体別対話は、町内の農林水産業や商工業等の各種団体と町長との直接対話を通して、現状や課題の共有、意見交換等を行うもので、今後のまちづくり施策に反映することを目的に開催しています。今回は、町内で精力的に活動している若手商工業者らと意見交換を実施し、人口減少による影響や移住定住振興策、先進的な技術の活用等、商工業の枠にとどまらない幅広い議論が行われました。対話の中では「人口減少が進んでいる中で残された人があるように動くべきなのか考えていく必要がある」といった意見や「育児や介護等、特定の分野で他市町にない優位性をつくるべき」「道の駅整備にあたり、福井駅前の事例を参考にしたい」「熊川宿のように美浜の景観を生かしたシェアオフィスを整備してはどうか」「美浜を離れたことで



↑さまざまな視点で意見を交わす参加者

改めて良さに気付くこともある」等、さまざまな視点から意見や提言が行われました。戸嶋町長は「町では、訪れた人が美浜町のことを応援し、たくましくなるような仕掛けを考えており、今後、美浜町の応援人口を増やしていきたい。皆さんのような熱い思いを持つ人がリーダーとなり、まちづくり積極的に参加してほしい」と話しました。

いきいき茨城ゆめ国体2019 ボート競技で
天皇杯6連覇、皇后杯4連覇を達成

■ お問い合わせ先
町美浜創生戦略課(担当・荒木)
☎32-6715



↑力を合わせて激漕する成年女子舵手つきクワドルブルのクルー

10月4日から7日にかけて、いきいき茨城ゆめ国体2019ボート競技が、茨城県潮来市の潮来ボートコースで行われました。大会は、悪天候の影響で、成年男子及び女子の決勝や準決勝、順位決定戦、少年男子及び女子の決勝や順位決定戦が中止となりましたが、出場した選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、天皇杯(男女総合成績)6連覇及び皇后杯(女子総合成績)4連覇を達成しました。

◎大会結果

天皇杯
(男女総合成績)

順位	都道府県名	得点
1位	福井県	120.5
2位	静岡県	75
3位	京都府	74.5
4位	埼玉県	70
5位	滋賀県	68
6位	愛媛県	54.5

皇后杯
(女子総合成績)

順位	都道府県名	得点
1位	福井県	68.5
2位	埼玉県	50
3位	東京都	42.5
3位	静岡県	42.5
5位	愛媛県	42
6位	滋賀県	36



↑天皇杯6連覇、皇后杯4連覇を達成した福井県ボート競技チーム